

協議員から出された意見

第25回協議会

話し合いの結果報告

意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ P I 協議会が中断したことに責任を痛感しており、今後も信頼関係の維持に努めていきたい。(川瀧協議員) ・ 東京都としても協議員の皆様と信頼関係を再構築し、協議会での議論を再会したい。(道家協議員) ・ P I 協議会の意見を尊重し、このためにも資料の出しっ放しや意見の言いっ放しではなく、その都度確認できることはその場で確認するなど、運営方法の改善を進めていくよう努めたい。(濱本協議員)
----	---

環境調査について

意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の環境影響評価の実施に当たっては市民参加の手法を取り入れるため、協議会において環境の現地調査箇所や実施方法を具体的に相談すると考えており、今回提案させていただく。(道家協議員) ・ 区市長および環境を担当する知事からの意見を踏まえて、調査の項目や方法を決定したい。また、具体的な箇所や方法については協議会で相談させていただきたい。(伊勢田協議員) ・ 世間では事業化が進んでいると考える人が大勢いる中で、構想段階であるということを明確に位置づけることが重要である。 ・ アセスメントにおいて住民意見に関する透明で客観性のある評価、たとえ悪い評価結果でも公表すると約束していただけるか。【提出資料補足説明】(栗林協議員) ・ 意見の概要をとりまとめ、知事および区市長に意見の返答をお願いしている。【提出資料補足説明】(宮良協議員) ・ 資料「外環道での現地調査(議論のための案)」を地元にお持ち帰り、具体的な情報、意見等を寄せていただきたい。【提出資料補足説明】(伊勢田協議員) ・ 計画については、環境調査とは別に協議会、オープンハウスおよび首長意見交換会で議論を深めていく必要がある。 ・ アセスメントを必要性の議論の材料にする。また、計画の材料になることも考えられる。(伊勢田協議員) ・ 捕獲というような行為および係るべき関係者をご相談いただきたい。(樋上協議員) ・ 捕獲は昆虫やネズミといった目ではなかなか見えないものや夜動くようなものになり、タヌキなどは捕獲するのではなく、目視により確認する。(伊勢田協議員) ・ 中央自動車道および東八道路の周辺道路の交通量を把握してほしい。(新協議員) ・ 交通量と騒音、振動には因果関係があり、仮にインターチェンジできることにより騒音、振動の心配な箇所の情報があれば教えていただきたい。(伊勢田協議員) ・ 計画内容が固まっていないので、予測評価はしないと解釈してよいか。 ・ 宮良協議員から出された資料の「15.廃棄物等」、「16.選定しなかった項目」は予測・評価の分野に入るかどうか確認していただきたい。(江崎協議員) ・ 計画内容が定まれば、それに基づいて、データを活用して予測・評価ができる。 ・ どういうやり方で予測・評価するのか、説明しなければならないと考えている。(伊勢田協議員) ・ 地域ごとに非常に細かい特性があることを考慮し、地域での意見交換をお願いしたい。 ・ 緑地率について調査項目に入れていただきたい。(栗林協議員) ・ P I 協議会の必要性の議論と環境調査がどういうスケジュールでリンクしていくのか。今後のプロセスをはっきりさせる必要がある。(柴田協議員)
----	---

必要性の有無(効果と影響)について

意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外環の収支率はどうか、費用に見合うだけの効果があるのか、検証していく必要がある。(江崎協議員) ・ 交通量の関係、インターチェンジの有無によるアクセス問題について議論していただきたい。(土肥協議員)
----	--